SOKEN.SHA
LOVE ‣ FOOD ‣ PEACE

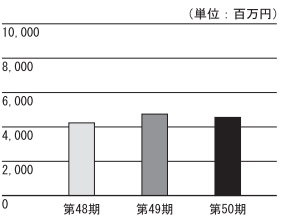
第 50 期

事業報告書

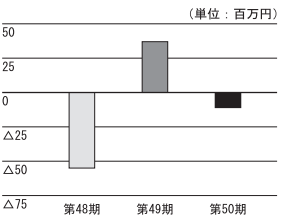
平成28年４月１日から
平成29年３月31日まで

決算ハイライト

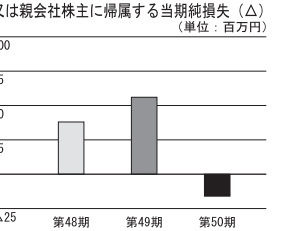
売上高



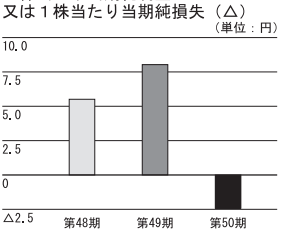
経常利益又は経常損失（△）



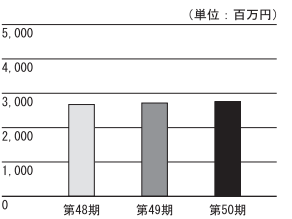
親会社株主に帰属する当期純利益
又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）



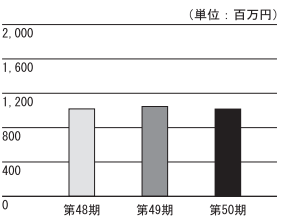
１株当たり当期純利益
又は１株当たり当期純損失（△）



総資産



純資産



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、第50期（平成28年４月１日から平成29年３月31日まで）の決算が終了し、事業報告書を作成いたしましたので、茲にお届け申し上げます。
食品業界におきましては、食の安全・安心に対するニーズが高まる中、当社グループは、「地球環境を大切にし、食生活の提案を通して人々の健康的な生活向上に貢献する。」という創健社の企業理念の下、食の更なる信頼を目指し、国民の健康増進のため一同全力を尽くしてまいります。

当連結会計年度（平成28年４月１日～平成29年３月３１日）におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策及び金融政策により緩やかな景気回復の動きがみられているものの、中国等の経済減速不安、英国によるＥＵ離脱懸念、米国大統領選の結果にみられる保護主義的風潮の広がり等、先行き不透明な状況が続いております。
当社グループを取り巻く食品業界におきましては、食の安全を求める消費者意識が高まるものの個人消費の回復は限定的で、原材料の高騰や台風の被害による国内農作物の不作に加え、企業間競争は激しさを増しており、収益を押し下げる要因となる等、依然として厳しい経営環境が続いております。
このような経営環境の下、当社グループは第３次中期経営計画『５０周年を迎え、新購買層への更なるアプローチ（平成26年４月１日から平成29年３月31日まで）』の最終年度となります当連結会計年度におきましては、既存の得意先の新しい顧客を増やすことにもつながるよう引き続き新しい顧客層やその予備軍が多く存在している市場を積極的に開拓、育成し、当社グループブランド商品の新しいファン作りに注力するとともに、営業利益目標を達成するために、役員・社員一丸となって取り組んでまいりました。
当連結会計年度における当社グループの商品品目別売上高につきましては、「嗜好品・飲料」が、五穀茶及びドライフルーツの売上減があったものの、チョコレート及び発酵カシス飲料等の売上増により前連結会計年度比５３百万円増（６．９％増）の８億２４百万円、「調味料」が、純米酢及び蜂蜜等の売上減があったものの、マヨネーズ及びドレッシング等の売上増により前連結会計年度比３５百万円増（２．６％増）の１４億４０百万円、「乾物・雑穀」が、餅きび及び炒り胡麻等の売上減があったものの、もち麦及び押麦等の売上増により前連結会計年度比２６百万円増（８．５％増）の３億３２百万円となりました。しかしながら、「油脂・乳製品」が、原材料用サラダ油及びべに花油の売上増があったものの、ココナッツオイル及びえごま油等の売上減により前連結会計年度比２億５４百万円減（２６．３％減）の７億１４百万円、「栄養補助食品」が、有機生姜粉末等の売上増があったものの、梅エキス及びコラーゲン等の売上減により前連結会計年度比４１百万円減（１８．９％減）の１億７７百万円、「副食品」が、有機トマト缶及びピーナッツスプレッドの売上増があったものの、コンビーフ及び蒲鉾等の売上減により前連結会計年度比７百万円減（０．８％減）の９億３１百万円、「その他」が、水素茶生成容器及びビタミンＣ保湿美容

液等の売上増があったものの、寝具用掃除機等の売上減により前連結会計年度比１百万円減（１．０％減）の1億２９百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、４５億５１百万円（前連結会計年度比１億９０百万円減、４．０％減）となり、売上総利益率も２５．２％と前連結会計年度比０．６ポイント減となりました。販売費及び一般管理費は１１億６２百万円（前連結会計年度比２７百万円減、２．３％減）でしたが、売上高及び売上総利益率の減少が響き、営業損益につきましては、営業損失１５百万円（前連結会計年度は、営業利益３３百万円）となり、経常損益につきましては、経常損失１１百万円（前連結会計年度は、経常利益３７百万円）という結果にて終了いたしました。また親会社株主に帰属する当期純損益につきましては、親会社株主に帰属する当期純損失１６百万円（前連結会計年度は、親会社株主に帰属する当期純利益５６百万円）となりました。

今後の事業戦略

第４次中期経営計画『新たなマーケットの開拓』（平成29年４月１日から平成32年３月31日まで）の初年度となります翌連結会計年度におきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて国内の食の安全とオーガニック市場に関心がさらに高まる中、当市場においても大手食品企業の参入が始まり、ますます競争が激しくなっております。当社といたしましては、当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成させるために、以下の施策に役員・社員一丸となって取り組む所存でございます。

①さらなる情報の透明化

食に求める価値観が多様化している昨今、当社グループはトレーサビリティの一層の強化を果たすため、生産者の顔が見えるストーリーのある商品を開発し、ホームページ等での情報開示を通して、消費者が当社グループブランド商品を安心して選択して頂けるよう努めてまいります。

②リ・ブランディング

消費者が求める商品の提供を、積極的に行ってまいります。「分かる人のみに伝わればいい」という考えではなく、企業理念（地球環境を大切にし、食生活の提案を通して人々の健康的な生活向上に貢献する）を幹とし、商品ごとに分かりやすく明確にした基準を設け、新商品の開発に努めてまいります。

③生産者及びメーカーとの連携強化

当社グループブランド商品を高品質で安定的に供給するためには、多品種に共有可能な原料の調達が重要になってまいります。日本の一次産業に貢献するためにも生産者及びメーカーとの連携を強化し、他社と一線を画した商品を提供する所存でございます。

④女性社員のさらなる活用

当社グループブランド商品の購買層に近い女性社員の目線を、商品コンセプト、パッケージ、味覚等に今まで以上に反映させてまいります。特に女性が商品に求める安全性、ファッション性、簡便性、機能性、美容、未病対策に繋げてまいります。

⑤注力チャネルの強化

量販店チャネルにおきましては、中小規模チェーン店、質販店、専門小売チェーン店に注力してまいります。生協宅配、Eコマースチャネルにおきましては、インターネット販売の拡大及び特別企画の提案に注力してまいります。異業種チャネルにおきましては、新たな女性顧客の獲得を目指し、ライフスタイル提案型店に注力してまいります。

⑥ジロロモーニブランドの再拡売

発売10周年をむかえるイタリア・オーガニック食品のパイオニア、ジロロモーニシリーズの再拡売を目指してまいります。全世界共通パッケージの導入を機に日本でのパッケージリニューアルも徐々に進んでおります。パスタを中心にジロロモーニの差別化を強調し、プロ好みの仕様を活かして業務用の販売にも注力してまいります。その一環として開始しておりました西麻布の「アーペ」が、平成28年8月に東京大学駒場リサーチキャンパス内に「アーペ クチーナ ナチュラーレ」として移転、自然あふれる開放的な空間で、素材にこだわったおいしいオーガニック料理を楽しむことが出来るレストランに生まれ変わりました。このようなレストランとの連携も積極的に進めてまいります。

⑦当社グループブランド商品の輸出増加

メイド・イン・ジャパンへの信頼性に応え、アジア市場での販売を強化してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成29年６月

代表取締役社長　中村　靖

主要商品の状況

当社グループの事業は単一セグメントであり、当連結会計年度の販売及び仕入実績をセグメントごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別主要商品販売構成

品目別	前連結会計年度 （自　平成27年４月１日 至　平成28年３月31日）		当連結会計年度 （自　平成28年４月１日 至　平成29年３月31日）			主要商品
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	前連結 会計年度比	
油脂・乳製品	969,501	20.4	714,573	15.7	26.3%減	マーガリン・べに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油
調　味　料	1,405,108	29.6	1,440,985	31.7	2.6%増	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	771,304	16.3	824,466	18.1	6.9%増	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料
乾物・雑穀	306,598	6.5	332,706	7.3	8.5%増	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦
副　食　品	938,772	19.8	931,130	20.4	0.8%減	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ（冷凍）・コンビーフ・ピーナッツスプレッド・蒲鉾
栄養補助食品	218,692	4.6	177,355	3.9	18.9%減	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ユーグレナ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・碁石茶・生姜粉末
そ　の　他	131,188	2.8	129,939	2.9	1.0%減	トイレタリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレーなど
合　　計	4,741,166	100.0	4,551,156	100.0	4.0%減	－

品目別主要商品仕入構成

品目別	仕入高（千円）	構成比（%）	前連結会計年度比
油脂・乳製品	530,647	15.7	25.9%減
調味料	1,089,173	32.2	3.7%増
嗜好品・飲料	633,709	18.8	9.5%増
乾物・雑穀	269,009	8.0	7.1%増
副食品	618,580	18.3	3.5%減
栄養補助食品	121,724	3.6	15.9%減
その他	115,164	3.4	5.0%増
合計	3,378,009	100.0	3.2%減

連結財務諸表

連結貸借対照表

（平成29年３月31日現在）

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	**2,252,138**	**流動負債**	**1,176,191**
現金及び預金	1,325,347	支払手形及び買掛金	472,085
受取手形及び売掛金	669,432	短期借入金	600,527
商品及び製品	200,695	リース債務	6,350
仕掛品	75	未払法人税等	5,126
原材料及び貯蔵品	25,046	賞与引当金	10,007
その他	32,800	その他	82,095
貸倒引当金	△1,259	**固定負債**	**563,887**
固定資産	**504,003**	長期借入金	247,977
有形固定資産	**185,280**	リース債務	14,824
建物及び構築物	56,789	繰延税金負債	8,357
土地	88,371	役員退職慰労引当金	85,400
リース資産	19,983	退職給付に係る負債	168,068
建設仮勘定	886	その他	39,260
その他	19,248	**負債合計**	**1,740,079**
無形固定資産	**9,667**	純資産の部	
その他	9,667	**株主資本**	**996,858**
投資その他の資産	**309,055**	資本金	920,465
投資有価証券	95,584	資本剰余金	45,965
保険積立金	158,246	利益剰余金	41,509
その他	59,452	自己株式	△11,081
貸倒引当金	△4,227	**その他の包括利益累計額**	**19,204**
		その他有価証券評価差額金	19,204
		純資産合計	**1,016,062**
資産合計	**2,756,141**	**負債純資産合計**	**2,756,141**

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

（平成28年４月１日から
平成29年３月31日まで）

（単位：千円）

科目	金額	
売上高		**4,551,156**
売上原価		**3,404,895**
売上総利益		**1,146,261**
販売費及び一般管理費		**1,162,008**
営業損失（△）		**△15,746**
営業外収益		
受取利息	206	
受取配当金	1,911	
仕入割引	3,381	
破損商品等賠償金	1,018	
受取手数料	504	
その他	1,633	8,654
営業外費用		
支払利息	4,329	
為替差損	31	
その他	130	4,491
経常損失（△）		**△11,583**
特別利益		
固定資産売却益	362	362
特別損失		
固定資産除却損	184	
役員退職慰労金	2,100	
リース解約損	344	
保険解約損	761	3,390
税金等調整前当期純損失（△）		**△14,612**
法人税、住民税及び事業税		2,339
当期純損失（△）		**△16,952**
非支配株主に帰属する当期純利益		－
親会社株主に帰属する当期純損失（△）		**△16,952**

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

（平成28年４月１日から
平成29年３月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	920,465	45,965	72,457	△11,062	1,027,825
当期変動額					
剰余金の配当			△13,995		△13,995
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△16,952		△16,952
自己株式の取得				△19	△19
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					－
当期変動額合計	－	－	△30,948	△19	△30,967
当期末残高	920,465	45,965	41,509	△11,081	996,858

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	18,975	18,975	1,046,800
当期変動額			
剰余金の配当			△13,995
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△16,952
自己株式の取得			△19
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	229	229	229
当期変動額合計	229	229	△30,738
当期末残高	19,204	19,204	1,016,062

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

貸　借　対　照　表

（平成29年３月31日現在）

（単位：千円）

科　目	金　額	科　目	金　額
資　産　の　部		負　債　の　部	
流動資産	**2,186,059**	**流動負債**	**1,139,099**
現金及び預金	1,293,035	支払手形	55,180
受取手形	13,829	買掛金	418,308
売掛金	638,821	短期借入金	380,000
商品	197,795	１年内返済予定の長期借入金	194,303
貯蔵品	7,622	リース債務	5,135
前渡金	7,013	未払金	57,890
前払費用	7,600	未払費用	4,018
立替金	15,026	未払法人税等	4,981
その他	6,554	預り金	6,415
貸倒引当金	△1,240	賞与引当金	9,407
固定資産	**517,581**	その他	3,458
有形固定資産	**155,472**	**固定負債**	**533,275**
建物	48,249	長期借入金	228,339
構築物	24	リース債務	12,439
車両運搬具	170	繰延税金負債	8,232
工具、器具及び備品	11,511	退職給付引当金	164,340
リース資産	16,295	役員退職慰労引当金	85,400
土地	79,033	長期預り保証金	34,524
建設仮勘定	187	**負債合計**	**1,672,375**
無形固定資産	**9,658**	純　資　産　の　部	
ソフトウエア	6,368	**株主資本**	**1,012,337**
電話加入権	1,279	資本金	920,465
その他	2,010	資本剰余金	45,965
投資その他の資産	**352,450**	資本準備金	32,130
投資有価証券	94,974	その他資本剰余金	13,835
関係会社株式	44,110	利益剰余金	56,960
出資金	15	利益準備金	1,500
従業員長期貸付金	637	その他利益剰余金	55,460
破産更生債権等	3,727	別途積立金	20,000
差入保証金	51,281	繰越利益剰余金	35,460
会員権	2,071	自己株式	△11,053
保険積立金	158,246	**評価・換算差額等**	**18,928**
長期前払費用	1,614	その他有価証券評価差額金	18,928
貸倒引当金	△4,227	**純資産合計**	**1,031,266**
資産合計	**2,703,641**	**負債純資産合計**	**2,703,641**

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損　益　計　算　書

（平成28年４月１日から
平成29年３月31日まで）

（単位：千円）

科目	金額	
売上高		**4,454,097**
売上原価		**3,347,559**
売上総利益		**1,106,538**
販売費及び一般管理費		**1,125,704**
営業損失（△）		**△19,166**
営業外収益		
受取利息	206	
受取配当金	1,911	
破損商品等賠償金	1,003	
業務受託手数料	840	
仕入割引	3,381	
その他	1,738	9,081
営業外費用		
支払利息	3,646	
為替差損	31	
その他	130	3,808
経常損失（△）		**△13,894**
特別利益		
固定資産売却益	362	362
特別損失		
固定資産除却損	184	
リース解約損	344	529
税引前当期純損失（△）		**△14,061**
法人税、住民税及び事業税		1,827
当期純損失（△）		**△15,888**

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

（平成28年４月１日から
平成29年３月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
						別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	920,465	32,130	13,835	45,965	－	－	86,845	86,845
当期変動額								
剰余金の配当							△13,995	△13,995
利益準備金の積立					1,500		△1,500	－
別途積立金の積立						20,000	△20,000	－
当期純損失(△)							△15,888	△15,888
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	－	－	－	－	1,500	20,000	△51,384	△29,884
当期末残高	920,465	32,130	13,835	45,965	1,500	20,000	35,460	56,960

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△11,034	1,042,241	18,975	18,975	1,061,216
当期変動額					
剰余金の配当		△13,995			△13,995
利益準備金の積立		－			－
別途積立金の積立		－			－
当期純損失(△)		△15,888			△15,888
自己株式の取得	△19	△19			△19
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		－	△46	△46	△46
当期変動額合計	△19	△29,904	△46	△46	△29,950
当期末残高	△11,053	1,012,337	18,928	18,928	1,031,266

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主ご優待制度のご案内

株主の皆様へ日頃のご支援にお応えするとともに、当社商品のご利用を通じて、事業内容をより一層ご理解いただくため、３月31日の最終株主名簿に記録された皆様に下記商品を贈呈しております。

株式保有数	優待内容
1,000株～1,999株	3,000円相当の当社取扱商品詰合せ（Ａセット）
2,000株～2,999株	6,000円相当の当社取扱商品詰合せ（Ａ＋Ｂセット）
3,000株以上	10,000円相当の当社取扱商品詰合せ（Ａ＋Ｂ＋Ｃセット）

ご参考

平成29年７月初旬にお届けする商品です。

（Ｃセットは申込用ハガキを送っていただき、11月頃にお届けいたします。）

Ａセット

Ｂセット

Ｃセット

「Ａセット」

べに花一番　高オレイン酸（角缶）　825g

従来のべに花油とは異なり、より健康を考え油脂中のオレイン酸の含有率を飛躍的に高めるために品質改良を重ねたべに花の種子から圧搾製法一番しぼりのみを充填した高級油です。

体内の悪玉コレステロールを下げると言われているオレイン酸を77％（脂肪酸中）も含んだ新タイプのヘルシーなべに花油です。

熱に強く酸化安定性に優れており、揚げ物・炒め物に、また酢などの液体になじみやすいのでサラダドレッシング、マヨネーズ、マリネなどにもご利用いただけます。

べに花マヨネーズ　300g

圧搾製法のべに花一番（高オレイン酸）と遺伝子組換えしていないなたね種子から作られたなたね油、醸造酢など自然な素材のみ使用した軽い風味のマヨネーズです。調味料（アミノ酸等）は加えておりませんので、あっさり風味がフレッシュな野菜の味をひきたてます。

ジロロモーニ　有機ロングパスタ　500g

有機栽培デュラム小麦を粗挽き（セモリナ）し、風味、おいしさ、そして、栄養素を壊さないようじっくり時間をかけ低温乾燥しました。小麦本来の味と香り、強いコシをお楽しみいただけます。

ベジタブルパスタソース　ボロネーゼタイプ（レトルト）　140g

お肉のような味わい国内産大豆100％の“大豆ミート”、トマト、国内産玉ねぎ、にんにく、イタリア産エキストラヴァージンオリーブ油など植物素材のみを使用した動物性原料不使用の純植物性パスタソースです。コレステロール＆トランス脂肪酸ゼロ。

五穀大黒スープ（フリーズドライ）　８g×４袋

餅あわ・餅きび・ハトムギ・大麦・アマランサスの五穀と有精卵を使ったフリーズドライタイプのスープです。お湯を注ぐだけで簡単に五穀（餅あわ、餅きび、ハトムギ、大麦、アマランサス）が摂れます。

有機ノンフライ　醤油ラーメン　110g

有機ＪＡＳ認定の有機しょうゆラーメンです。麺は有機小麦粉を使用したコシのあるノンフライ麺。特製スープは有機しょうゆをベースにポーク、チキン、宗田節等のうまみを効かせたコクのあるおいしさです。

有機ノンフライ　塩ラーメン　110g

有機ＪＡＳ認定の有機塩ラーメンです。麺は有機小麦粉を使用したコシのあるノンフライ麺。特製スープは粗塩をベースに宗田節、有機にんにく、しょうが等のうまみを効かせたコクのあるおいしさです。

「Ｂセット」

国内産　十六穀米　300g

国内産原料を使用した十六穀米です。体に良い穀物を十六種類ブレンドしました。豆類は硬くならないように蒸し乾燥する加工を施して、均一に炊きあがるようにしてあります。

笛木醤油　金笛胡麻ドレッシング　230ml

素材を吟味し、乳化剤は使用せず、独自の技術でていねいに作り上げました。まろやかさがひときわ冴えた胡麻の風味豊かなドレッシングです。

魚介類やしゃぶしゃぶのタレなどにもお使いいただけます。

黒米入り　五穀クッキー　９枚

国内産の黒米を入れた、五穀（小麦、玄米、白胡麻、アマランサス、ハトムギ）たっぷりの香ばしいクッキーです。緑黄色野菜の代表ほうれん草も生地に練り込みました。（個包装）

お米でつくった本格カレールゥ　135g

国内産米粉と25種類以上のオリジナルブレンドスパイスを使った本格カレールゥです。ラードや牛脂、動物性のブイヨン・エキスなど動物性原料を一切使用せずに植物性素材のみで仕上げました。フレークタイプなので、ドライカレー、ピラフ、炒め物などにもご利用いただけます。

チョーコー醤油　実正ゆずかけぽん　210ml

長い年月をかけて種子から育った木に実る希少な「実生ゆず」を贅沢に使用して、超特選・本醸造丸大豆醤油をベースに風味豊かでマイルドな味わいのぽん酢しょうゆに仕上げました。鮮度を保つ密封ボトル入り。

播磨園　　有機三年番茶　180g

京都・宇治の自社農園で農薬や化学肥料に頼らず栽培した有機茶葉を、充分乾燥したのち程よく熟成させ、出荷直前に焙じ上げた、香ばしくまろやかな有機三年番茶です。急須でも煮出しでも美味しく召し上がれる大変香ばしいお茶です。

「Ｃセット」

自然農法で栽培されたこだわりの新米　２kg×２袋

・森のくまさん
・あきたこまち
・こしひかり　　の中から１つ選んでいただきます。

また、当社商品は特定の原材料を用いる事が多い事から、原材料の調達の都合により株主優待商品がご案内と異なる事がございます。どうかご理解ご了承賜りますよう、お願い申し上げます。

会社概要

商　号	株式会社　創健社
英訳名	Sokensha Co.,Ltd.
所在地	〒221-8741 横浜市神奈川区片倉二丁目37番11号 TEL(045)491-1441
設　立	昭和43年２月５日 (証券コード：7413)
資本金	９億2,046万５千円
決算期	３月31日(年１回)

取締役及び監査役 (平成29年３月31日現在)

地　　位	氏　　名
代表取締役社長	中　村　　靖
取　締　役	岸　本　英　喜
取　締　役	山　田　一　斗　資
取　締　役	飯　田　雅　之
取　締　役	合　田　真　琴
常勤監査役	本　田　次　男
監　査　役	的　場　堅　志
監　査　役	鈴　木　久　衛

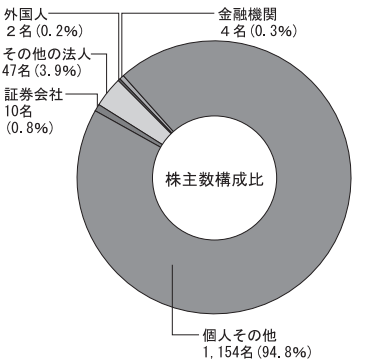
株式の状況 (平成29年３月31日現在　株式併合前)

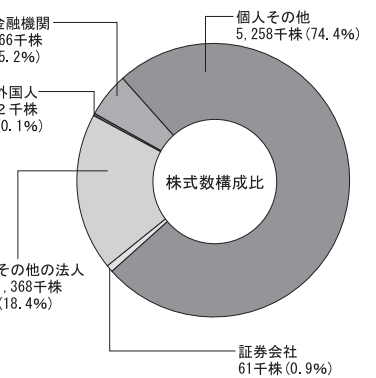
発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	7,055,000株
一単元の株式数	1,000株
株主数	1,217名

大株主 (平成29年３月31日現在　株式併合前)

株　主　名	持株数(千株)	持株比率(%)
中村　靖	840	12.01
中村　澄子	782	11.17
創健会（取引先持株会）	620	8.85
太田油脂株式会社	590	8.43
株式会社横浜銀行	317	4.52
有限会社タカ・エンタープライズ	196	2.80
原田　こずえ	189	2.71
創健社従業員持株会	168	2.41
月島食品工業株式会社	129	1.85
日清オイリオグループ株式会社	125	1.78

（注）　持株比率は自己株式（57,101株）を控除して計算しております。





(平成29年３月31日現在　株式併合前)

株式会社 創健社
横浜市神奈川区片倉二丁目37番11号
TEL045(491)1441(代)　〒221-8741

株主メモ

事業年度	４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月に開催
基準日	定時株主総会の議決権　３月31日 期末配当　３月31日 ※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話　0120-232-711（通話料無料） 〔受付時間９:00～17:00（土、日、祝祭日、年末年始を除く）〕 ホームページ　http://www.tr.mufg.jp/daikou/ 平成29年８月14日以降は住所のみ下記に変わります。 〒183-0044　東京都府中市日鋼町１－１
上場証券取引所	東京証券取引所ＪＡＳＤＡＱ（スタンダード）
公告方法	電子公告により行います。 http://www.sokensha.co.jp/company/ ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 なお、当社の貸借対照表並びに損益計算書は、EDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

（株式に関するお手続き）

１．株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。

２．特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社）にお問合せ下さい。

３．マイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます。株主様は口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）へマイナンバーをお届出下さい。

VEGETABLE OIL INK